

司会・演出 (株)ハセガワエスティ
撮影 (株)エスティビジョン

“心”を大切にした司会、演出、映像撮影・編集で 新天地・京都で新風巻き起こす

年間1万8000組を超えるウエディング司会を手掛けるハセガワエスティ。「ザ・リッツ・カールトン東京」の15秒CMやフェア映像などを手掛けているエスティビジョンが「ザ・リッツ・カールトン京都」の婚礼司会と演出、そして記録型映像撮影を手掛けることになった。各業種へのこだわり、そして最高級のラグジュアリーホテルへの思いをお聞きした。



□婚礼司会 単なるしゃべり手ではない、 総合プロデュースできる司会を

ハセガワエスティの目指す司会の基本は“心の喝采 (applauso)”にある。強要する拍手ではなく、自然と心から拍手を贈りたくなるようなシーンを作り続けている。

結婚式という特別なステージのそれぞれのシーンで空間を作り出すという技術や、安心して任せられる知識や今、求められていることを察知する能力、そして話し方、間の取り方や存在感によって新郎新婦やゲストに心地よさを感じさせるプロデュース力など、結婚式の司会者として必要とされることや心などを徹底的に追求している。

テレビ局のアナウンサーやキャスター経験者でも採用される確率はわずか

8%、狭き門であるのは単なるうわべの言葉づかいでなく、人間としての優しさ、心意気、奥深さ、気遣いなどすべてを採用基準にしているからだ。それを基本に単なるしゃべり手ではない、2時間30分のウエディングパーティーのプランニングをする司会者の自覚を持ち、全スタッフにプロデューサーの基本的な知識や動きなども習得させている。

また「ザ・リッツ・カールトン京都」の婚礼司会契約に当たり、今春2月に京都事務所を開設し、敏速な対応によりホテルと一体となったウエディングを作り上げていく。

「新郎新婦様はもちろんのこと、全国からいらっしゃるゲストの皆さまに京都の魅力を身近に感じ、楽しんでいただけるよう、ハセガワエスティスタイルで披露宴を盛り上げていきたいと思います」(司会者・田端研吾氏)。

□演出 京都ならではの日本芸能「舞妓」を提案

京都を感じさせる演出「舞妓」を提案。京都ならではの日本芸能を楽しんでほしいという思いから提案、販売する運びとなった。結婚式に限らず、宴会などの宴席でも提供可能だ。

舞子2時間30分まで1名5万円(税別、交通費別)。

招待したゲストのサプライズプレゼントとして喜ばれる演出だ。

□映像撮影・編集 システマチックになりすぎない “心のある”撮影・編集を

エスティビジョンは2011年6月より「ザ・リッツ・カールトン東京」にてウエディングの撮影・映像・制作を行なっている。同ホテルに対する期待に映像分野で応えるためにどのようにすべきかを常に考え、システマチックになりすぎない“心のある”撮影・編集を大切にしている。

ビデオ収録は2カメラで行ない披露宴当日をさまざまな角度・視点で収録するスタイルで挑んでいる。これは当日、新郎新婦が見えない部分や、ゲストのリアクションなど、瞬間瞬間の表情を2台のカメラできちんと記録している。

それは“いつまでも大切にご覧いただきたい”という思いであり、その思いとていねいな対応が「ザ・リッツ・カールトン京都」における契約にいたった。

「素晴らしい機会をいただきましたので、エスティビジョンらしい撮影・編集を京都でも広げられればと思います。」



写真 男性司会：田端健吾さん 女性司会：池内孝枝さん